

日本音楽知覚認知学会平成21年度第2回理事会議事録

日時：平成21年（2009年）11月7日（土曜） 11：30～13：00

開催場所：龍谷大学 瀬田キャンパス 6号館 小会議室

出席者（敬称略）：大浦容子、星野悦子、中島祥好、大串健吾、小川容子、桑野園子、菅千索、田中吉史、津崎実、中山一郎、難波精一郎、古矢千雪、三浦雅展、森下修次、山崎晃男

議題

1. 春季研究発表会研究選奨受賞者について（報告：小川容子先生）

本年6月6～7日に桐朋学園芸術短期大学にて開催された春季研究発表会における研究選奨を以下のように本学会が授賞する経緯と選定理由が、小川学会賞担当理事から報告された。この選定委員として、荒川恵子、安達真由美、中島祥好、山田真司の各先生が委嘱されていた。

選定件数：1件

発表者：橘亮輔

題目：聴覚運動統合の神経基盤—簡略化した楽器のピッチ調整中のfMRI計測—

2. 秋季研究発表会研究選奨委員の委嘱について

今回も4名の先生がたに選定委員が委嘱された。

3. 『音楽知覚認知研究』発行・編集状況について（報告：津崎実先生）

津崎実副編集委員長から、第13巻第1号・第2号合併号が今年10月に刊行されたことと、第14巻第1号・第2号合併号は来年3月の刊行予定であることが報告された。現在、原著論文3本、資料2本、解説1本が準備中である。第15巻1～2号、16巻1～2号を来年度中に刊行して、本来の時期と号数に迫いつけそうな展望が示された。

編集委員としては、理事会メンバーとハルトマン氏が含まれるが、後者には編集委員としての自覚がおりか明確でないため、確認のメールを編集委員長から発行雑誌とともにお送りすることとなった。編集委員には顧問の難波精一郎先生、監事の岩宮眞一郎先生、仁平義明先生も含まれることを再確認した。

その後、投稿数を増やすためにどうするかが討論された。現在、研究選奨受賞者には投稿を勧めているが、その他に研究発表したものを投稿するよう理事からそのような方向でコメントすることが提案された。大浦容子会長からは「投稿論文の書き方」のチュートリアルを次回の研究発表会（公立はこだて未来大学）でおこなってはどうかの提案がなされ、了承された。企画内容については、理事メールにて検討することとなった。

4. アーカイブWG報告（報告：WGチーフ 桑野園子先生）

これまでの学会発足の経緯と歴史を学会HP上に資料として残すためのWGの作業の中

間報告と検討事項が、桑野先生から報告された。9名の各構成メンバーの作業分担が決まったことが述べられた。検討課題としては、(1) 資料をどの程度まで詳しく公開するのか、が話し合われた。すべてを公開するのではなく、事実だけの限定情報をまずもって公開することとし、詳しい情報は紙ベースで残すこととすることが了承された。検討課題の(2) 論文のPDFファイルの公開については、2~3年が経過したものについては順次公開してはどうかとの意見が出され、引き続き検討することとなった。

5. 学会賞WG報告(報告:WGチーフ 小川容子先生)

学会賞の選考対象となる巻に論文が掲載されている理事は、選考委員から除外するかどうかについては、現在の「常識にお任せする」のではなく、以下のように学会賞細則を修正して明文化したい旨の提案が小川先生からあり、本理事会で了承された。

追記修正部分は『 』内である: 学会賞細則2、論文賞の決定方法 『(オ) 選考対象となる巻に論文が掲載されている者は、論文賞選考委員から除外することとする。』なお、「申し合わせ事項として、選考委員は自身に関連する論文を推薦しないこととする。」も了承された。

論文賞の選考基準の見直しにあたり、何らかの基準を設けることについては、その前に投稿論文の少ないことが問題であり、新たな基準を設けることによってそれに縛られることが危惧されるとして、当面は現行のまま進めることとしたい旨が提案された。研究選奨受賞者の学会活動への参加促進のために、何らかの内規を設ける件については、複数の案があるが今後検討を続行することとなった。

6. 著作権WG報告(報告:WGチーフ 中島祥好先生)

著作権に関して「困る」かもしれない事例が複数集められて報告された。また理事からの質問に中島先生が回答した(たとえば、自分がある学会誌に載せた図などを別の学会誌に載せる場合、前者へ許可を求める必要はないが、書籍出版の場合は許可を求める必要がある)。学会を他学会の組織と共催する場合、予稿集の著作権帰属をどうするかについては、現在はそのつど折衝している。しかし、学会の基本姿勢を次回の理事会までに検討・回答したいとの報告があった。

7. 次回春季研究発表会について(報告:山崎晃男先生)

次回の研究発表会は、2010年5月29日、30日の日程で、公立はこだて未来大学(世話役:中田隆行先生)にて開催される予定であることが、山崎研究発表会担当理事から報告された。

8. その他

三浦雅展先生(今回の世話役)から、新型インフルエンザとみられる症状がでた理由により今回の演者から発表取り消し連絡3件のあったことが報告された。

以上